

# 体験！遊び！食育！山北小の宝「森の学校」

～参加する活動から児童も参画する活動へ～ 玉東町立山北小学校

## 「森の学校」とは

「森の学校」は、平成16年度、「山北小学校の竹林と雑木林を児童や地域のために活用できないだろうか」という声に賛同した保護者の方々が、自主的に整備を行ったことから始まったPTA主体の活動です。

試行錯誤を重ね1年かけて完成させた「炭焼窯」では、竹炭作りやパン・ピザを焼く体験を行っています。また、「あずま屋」、「いろり」、「くど」を作り上げ、卒業生を対象にした「お茶会」等の催しも行っています。

こうした「森の学校」を含む山北小学校の環境教育に対する活動は高く評価され、平成19年度には「くまもと環境省」、平成20年度には「環境大臣表彰」を受賞するなど、広く注目を集めてきました。



炭焼窯でのピザ焼き

## 森学スピリッツ 学びの3ヶ条

1  
ケガしたって  
いいじゃない  
そのことで学べる  
ことがある！

2  
失敗したって  
いいじゃない  
自然の中では  
それが当たり前！

3  
何もなくても  
いいじゃない  
何かを見つける  
こともある！

本年度(7/15 実施)の様子から



**遊び** (いかだで川渡り、すべり台やターザンロープで川にジャンプ、ゴムパチンコやカニ探しもできたよ！)



**食育** (自分でトッピングしたピザはどれもおいしいね。流しうどんは、竹はして上手に食べられたかな？)



**体験** (世界で一つだけのマイ竹カッパ・マイ竹はし作り、火起こしにチャレンジしたけど、なかなか難しい！)

## 参加から参画へ

「参加はしてるけど参画していない。」こうした反省をふまえて、14回を迎える本年度は、全体会の進行や活動班の引率リーダーを6年生に任せるなど、保護者中心から児童も参画する「森の学校」へと進化しています。「親の言うことより、上級生の言うことこのことのほうがよく聞く。」とはある保護者の声。保護者にとっても「親の学び」の場であり、他校には類を見ない程の保護者同士の強い絆を生み出す、まさしく「山北小の宝」の活動です。



子どもたちが運営した開・閉講式